



スマホ

11月2日（金）の日誌に、●●くんが

いつも授業中眠いですが、今日は違いました。今朝は生物レポートのために睡眠時間を削ったのに。何故今日は違うのか、それは昨日から、あるiPhoneアプリを使っているからだ。ここで紹介させていただきたい。アプリの名は「快眠サイクル」。人の睡眠にはレム睡眠とノンレム睡眠があるのはご存じでしょう。浅い眠りのときに、このアプリを設定すれば起こしてくれるのだ～！ その仕組みは、シーツの上に Phone や ipod touch を置くと、内蔵のセンサーによって寝返りをうったときの振動を検出し、今の睡眠状態を認識するのだ。是非ためていただきたい。

と書いている。イマイチ最後の「仕組み」の説明がピンと来ないのだが、どうです、授業中に眠気を感じる人は（って、多分全員だろうが…笑）、試してみたい気持ちになりますかね？ 無料ならイイかもね。

ところで、みんなはスマホなのだろうか？ 私は新しもの好きのアップル好きだから、当然のことながらスマホだが、保守的な主人は先週機種変更したにもかかわらず、従来型の端末にしていた。英語の教員なので、授業では iPod touch をCDデッキの代わりに使っているにも関わらず、番号ボタンを使ったメール入力に慣れているせいか、新しい方式には変更したくないらしい。使わない機能が増えて重くなり、しかも電池がもたないときは、ますます魅力を感じないそうだ。ケータ

イを「電話とメール（と写真）の道具」と考える人には、そうなのかも知れない。

スマホは一種のパソコンだから、それをうまく使いこなせば、授業でも役立てることができるに違いない。例えば、大学では講義に積極的に活用する先生方もいらっしゃるようで、学生たちは何かあるとサッとスマホを取り出してネット検索したりしている。Wi-Fi環境が整っていて、高速で通信できる点も利便性を高めているようだ。

前回の学級タイムでは、志望大学などのアンケートをとったが、そういう際にもうまく活用すれば、その場で大学や学部・学科の最新情報を手に入れることができる。そういうことを今のうちに経験しておく、いよいよ本当に決めなければならなくなった時に、短時間で上手に情報を手に入れられるようになるかも知れない。何ごとも経験である。

一方、新しいツールが広まっていく際には、必ずその使い方が問題になる。例えば、ちょっと前までは LINE の使い方が多くの学校で話題になっていた。ついつい夢中になって、時間やネチケットのコントロールに失敗する例や、参加していない人との人間関係に問題が生じる例などが多く報告されている。

しかし、こういうことも、結局は経験しながら解決していかなければならないことなのであろう。スマホユーザーの諸君には（「漫画カメラ」などのダウンロードも含め？）、理性的で有効な活用を期待したい。（*公共電力の私的活用（充電など）を禁ず！）